



11月号 (No.8)

2025年10月27日

帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

ユニバーサル・ラン

帝京大学小学校 校長 石井卓之

10月22日(水)、5年生が株式会社LIXIL主催のスポーツを通じて多様性を学ぶ体験授業(ユニバーサル・ラン)を本校の体育館で受けました。パラアスリートとの交流やパラスポーツの体験・講義などを通じて、子どもたちの多様性への理解を育む目的で実施されています。



当日は、100mで2019年に日本人義足スプリンター4人目となる11秒台を記録した、池田樹生(いけだ みきお)さんを講師としてお迎えしました。生まれたときから右ひざ下と右腕の肘から先に障害があることや自身の経験や生活について、分かりやすく話していただきました。日常使いの義足とスポーツ用の義足を実際に手にしながら走る姿や着脱方法、重さを実感できた体験は、子どもたちにとって驚きの連続でした。

最後に、「自分たちにとっては当たり前、義足ユーザーにとっては当たり前じゃない。それは何か考えてみよう」という課題について考えました。そして司会者が、「池田さんができないことは何でしょう。」と質問すると、子どもたちはできないと思うことを色々とあげていきました。子どもたちができないと思った中に「料理」もありましたが、左手に包丁をもって右肘で野菜を押さえて切る、お皿も洗えることが分かりました。また、ゲームのコントローラーの操作も補助具を使いながらできる

と回答したときに、子どもたちからは驚きの声があがりました。

最後に司会者が「日本と海外の違い」について聞くと、車いすの利用者が公共交通機関に乗るときには、日本では例えば駅員などの方が対応するが、ロンドンでは近くにいる方が当り前にみんなで車いすを持ち上げて乗車を補助するという話をしてくれました。

授業後に、「なぜ料理などひとりではできないのでしょうか。」と聞くと、池田さんのお母様は、将来自立するときに困らないように、幼少期から親が手伝うのではなく、時間がかかっても自分で工夫してできるようになるのを待っていたとのことでした。本当に学ぶことの多い授業でした。

運動会のお礼

10月18日(土)の運動会では、昨年度の反省を生かして、保護者の皆様に片づけのお手伝いをさせていただきました。テントやシートなどの撤収が短時間で終わり、本当に助かりました。改めてお礼を申し上げます。来年度は、子どもたちが校庭に出る時間を早め、よりスムーズに引き渡しが行えるように改善を進めていきます。

また、閉会式でもお話しましたが、走競技のゴール地点での譲り合いやトイレの使用の仕方、開始時の入構の仕方など、子どもたちの模範となる姿を示していただきましたことにも、心より感謝申し上げます。

保護者の皆様からいただいた反省アンケートについては、組織で検討して次年度の運動会に積極的に反映をしていきます。改善が難しい項目については、理由についてしっかりとお伝えしていきます。

職員室の窓

「ともよ」は、帝京大学小学校で1年生から6年生まで楽しく踊れる本校の伝統的な表現運動になっています。たてわり学習の時間の中で、ペア同士が楽しそうに笑顔で踊っていたのが印象的でした。今年度は昨年度までの隊形に加え、新しい隊形にも挑戦しました。一生懸命練習に取り組んだ1・2年生の表現はいかがだったでしょうか。伝統を受け継ぎながら、進化していく帝小っ子の「ともよ」を楽しみにしてください。



1,2年表現指導教員